

岐阜商工信用組合本店

Gifu Shoko Communication Bank Head Office

No. 13-058-2019作成

新築
銀行

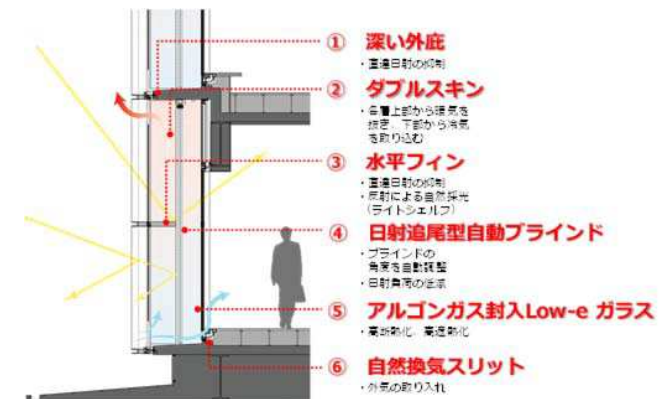
発注者	岐阜商工信用組合	カテゴリー				
設計・監理	株式会社 竹中工務店 TAKENAKA CORPORATION	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	竹中、市川、青協 共同企業体	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

2つのテラスに開かれた透明性の高い金融オフィス

金融機関本店の移転計画。地域や顧客との関わりを深めるための開かれたオフィスを目指した。岐阜市官庁街に位置する間口25m奥行135mの細長い敷地に、間口16m奥行80mの奥行のある建物を計画した。2つのテラスで分節することで、金融機関としてのセキュリティを確保すると共に、ワーカークの気配やテラスの光や緑、自然風を感じられる透明性の高い、快適なオフィス空間を創出した。

高性能パッシブファザードと自然エネルギー利用

建物正面の西面ファザードは、堀の深い庇をはじめ、重力換気を行う高性能Low-Eガラスによるダブルスキンと日射追尾型自動ブラインドにより直達日射を抑制し、開放感と空調負荷低減を両立させた。また、水平フィンを用いたライトシェルフで自然光を取り込み、昼光センサーを用いたLED照明制御や、外気取り込み用の自然換気スリットを設け自然エネルギーの積極的利用を計画している。



高性能パッシブファザード



高性能パッシブファザードを用いた西側外観



テラス テラスに設けた日射遮蔽格子

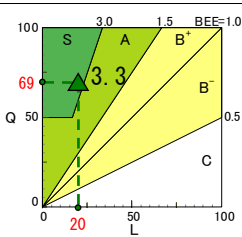


80m視線が抜ける空間構成



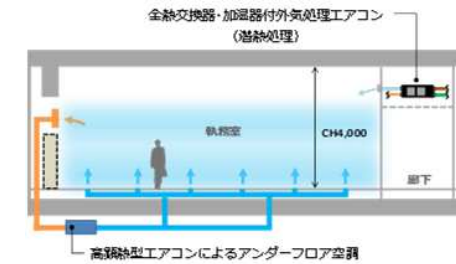
東西方向断面図

建物データ	所在地 岐阜県岐阜市	省エネルギー性能	BPI 0.65	CASBEE評価	Sランク
竣工年	2018年	BEI(標準入力法)	0.58	BEE=3.3	
敷地面積	2,382㎡	LCCO ₂ 削減	30%	2016年度版	
延床面積	3,698㎡	BELS	★★★★★	第三者認証	
構造	S造				
階数	地上3階				



顕熱・潜熱分離空調システム

直天で天井の高い高い執務室空間は、アンダーフロア空調を採用しドラフト感の少ない快適な空調方式とした。外気は全熱交換器・加湿器付きの直膨式外気処理エアコンで潜熱処理を行い、室内顕熱は直吹空調より吹出温度が高めに運転出来る高顕熱型空冷パッケージエアコンを組み合わせた潜熱・顕熱分離空調方式を採用している。CO₂センサーによる最適外気量導入制御や、予熱時外気停止制御と組み合わせ更なる省CO₂化を図っている。



顕熱・潜熱分離空調システム



直天井で気積の大きな執務室

地産地消

仕上材料には岐阜県産のタイルや木材、石材や家具などを多く使用し、親しみのある空間づくりを行っている。地場産業の振興と循環型社会に貢献すると共に、運搬時のCO₂排出量も削減している。



カフェテリア



給湯ステーション

建設時におけるCO₂削減の取り組み

奥行約130mの細長い敷地形状で効率的な施工を行うため、3層一体型のユニットを敷地奥から大梁なしで並列する「スキップフレーム工法」を開発した。省力化・省人化により建設時のCO₂排出量削減を達成した。



スキップフレーム工法

ライフサイクルCO₂を削減するシステム展開

汎用性の高い省CO₂技術をバランスよく取り入れ、BELS5★の高い環境性能を確保すると共に、建設時の効率化工法やワークスタイル改革の推進等により、LCCO₂の削減と知的生産性の向上を図っている。



工種	標準工数 (人)	実工数 (人)	省人化工数 (人)	実工数/標準工数	省人化率	
						標準工数
上部	建方	128	104	▲ 24	0.81	19%
	本籍	72	62	▲ 10	0.86	14%
	デッキ	23	23	0	1.00	0%
基礎	鉄筋工事	94	70	▲ 24	0.74	26%
	大工工事	139	92	▲ 47	0.66	34%
	鉄筋工事	107	89	▲ 18	0.83	17%
合計	563	440	▲ 123	0.78	22%	

躯体工事における省人化率

キーワード

★ 補助金申請項目

外皮負荷低減 ★ 1 パッシブファザード ★【西面】 ・外庇+ダブルスキン ・日射追尾型ブラインド ・ライトシェルフ ★【南面】 ・日射遮蔽型外壁 ・縦横フィン 2 Low-eガラス、高断熱化	照明負荷低減 3 高効率LED照明の採用 3 照星人感センサー制御 4 照明昼光センサー制御 5 タスク・アンビエント照明 1 自然採光(中庭) 6 エネルギーの見える化 4 高効率変圧器	空調負荷低減 ★ 5 潜熱・顕熱分離空調システム ★ 6 冷房排熱回収システム 7 高効率ヒートポンプ空調機 8 全熱交換器 7 予熱時外気停止制御 8 外気取入CO ₂ 濃度制御 9 風量の自動可変制御 10 クールビズ・ウォームビズ 2 自然換気・外気冷房・ナイトバージ	B C P対応 1 非常用発電機 2 無停電電源装置 3 災害対策本部の設置 1 自然採光(中庭) その他 ユニット架構による効率化工法 ワークスタイル改革 岐阜県産の木材利用 多目的スペースの地域開放
--	--	--	---

設計担当者

統括：市川健二/建築：大嶽清和、小杉嘉文/構造：山田基裕、平林聖尊、設備/金子研、緒方貴憲

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性(仕上材や設備の補修・更新間隔への配慮)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制(ダブルスキン、高性能Low-Eガラス、日射追尾型ブラインド、高断熱化、BPI=0.65)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用(東西外壁横ルーバーによるライトシェルフ、自然換気)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化(潜熱・顕熱分離空調システム、LED照明の昼光制御、冷暖フリーエアコンによる排熱回収、BEI=0.58)
- LR1. 4. 効率的運用(エネルギーの見える化を利用したワークスタイル改革)
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮(LCCO₂削減)